平成 24 年５月 15 日

各　　位

会 社 名　林兼産業株式会社
代表者名　取締役社長　熊山 忠和
（コード番号　2286　東証第一部）
問合せ先　管理本部総務部長　松尾 和成
（ＴＥＬ．　083 － 266 － 0210）

資本金および準備金の額の減少ならびに剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 24 年６月 25 日に開催を予定している第 73 期定時株主総会に、以下のとおり、資本金および準備金の額の減少ならびに剰余金の処分について付議することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．資本金および準備金の額の減少ならびに剰余金の処分の目的

現在生じている欠損金を填補し、財務体質の健全化を図り、将来の株主還元策の体制を整えることを目的として、会社法第 447 条および第 448 条に基づき、資本金および準備金の額を減少いたします。また、会社法第 452 条に基づき、資本金および準備金の額の減少の効力が生じた後のその他資本剰余金の一部ならびに別途積立金の全額を減少して繰越利益剰余金に振り替え、欠損金の填補に充当いたします。

２．資本金および準備金の額の減少の要領

（１）減少する資本金の額

平成24年３月31日現在の資本金の額4,455,000,000円のうち1,039,979,855円を減少し、資本金の額を 3,415,020,145 円とし、減少する資本金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えます。

（２）減少する資本準備金の額

平成 24 年３月 31 日現在の資本準備金の額 797,309,522 円を全額減少して、その他資本剰余金に振り替えます。

（３）減少する利益準備金の額

平成 24 年３月 31 日現在の利益準備金の額 72,000,000 円を全額減少して、繰越利益剰余金に振り替えます。

（４）資本金および準備金の額の減少の方法

発行済株式総数の数の変更を行わず、資本金、資本準備金および利益剰余金の額のみ減少いたします。

３．剰余金の処分の要領

資本金および準備金の額の減少の効力が生じた後のその他資本剰余金 1,837,289,377 円のうち、1,831,299,573 円および別途積立金 500,000,000 円の全額を減少して繰越利益剰余金に振り替え、欠損金の填補に充当いたします。

４．減少後の資本構成

資本金および準備金の額の減少ならびに剰余金の処分について、所定の手続きをそれぞれ行った場合における個別財務諸表の資本金、資本準備金、その他資本剰余金、利益準備金、別途積立金および繰越利益剰余金の数値は以下のとおりです。

（単位：円）

	平成 24 年 3 月 31 日現在	資本金および準備金の額の減少		剰余金の処分	
		増減額	手続後	増減額	手続後
資本金	4,455,000,000	△1,039,979,855	3,415,020,145	―	3,415,020,145
資本剰余金					
資本準備金	797,309,522	△797,309,522	―	―	―
その他資本剰余金	―	1,837,289,377	1,837,289,377	△1,831,299,573	5,989,804
利益剰余金					
利益準備金	72,000,000	△72,000,000	―	―	―
その他利益剰余金					
別途積立金	500,000,000	―	500,000,000	△500,000,000	―
繰越利益剰余金	△2,403,299,573	72,000,000	△2,331,299,573	2,331,299,573	―
自己株式	△5,989,804	―	△5,989,804	―	△5,989,804
株主資本 合計	3,415,020,145	―	3,415,020,145	―	3,415,020,145

５．日程

（１）取締役会決議日　　平成 24 年５月 15 日
（２）株主総会決議日　　平成 24 年６月 25 日（予定）
（３）債権者異議申述最終期日　　平成 24 年８月２日（予定）
（４）効力発生日　　平成 24 年８月３日（予定）

６．今後の見通し

上記資本金および準備金の額の減少ならびに剰余金の処分については、「純資産の部」における項目間の振替処理であり、当社の純資産額に変更を生じるものではなく、本件が個別および連結業績に与える影響はございません。

なお、本件は平成 24 年６月 25 日開催予定の当社定時株主総会において、承認可決されることを条件としております。

以上